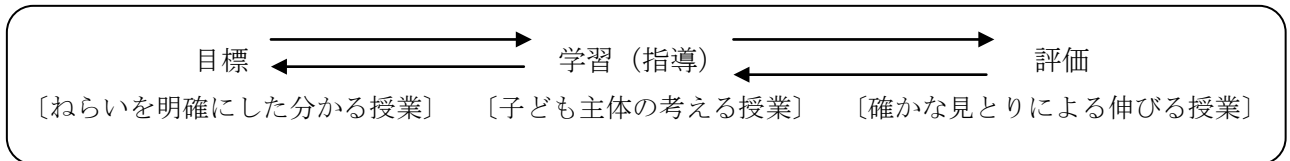


「目標」と「学習」（指導）と「評価」の一体化を目指して
～第2学年 国語「わたしは おねえさん」の実践を通して～

柏崎市立新道小学校 教諭 飛田華恵

1 はじめに

当校では、「目標」と「学習」（指導）と「評価」の一体化を目指した授業作りをテーマに実践研究を進めている。



「目標」と学習（指導）と「評価」の一体化を目指した授業作りにおいて、次の視点に重点をおいて実践を行った。

- (1) 〔ねらいを明確にした分かる授業〕のために、
 - ・子どもの学習状況等を的確に把握し、身に付けさせたい力や授業のねらいを明確にして分かりやすく提示すること。
 - ・子どもたちが学習に主体的に取り組める具体的な課題を提示すること。
- (2) 〔子ども主体の考える授業〕のために、
 - ・子どもの思考の流れが見える構造的な板書、子どもの思考を促す適切な発問や指示を行うこと。
 - ・子どもの考えが深まるよう、「聞いて考える力」「書いて考える力」の育成に力をいれること。
- (3) 〔確かな見とりによる伸びる授業〕のために、
 - ・ねらいと連動した具体的な評価方法で評価を実施し、ねらいの達成状況を確認に見取ること。

2 授業の実際

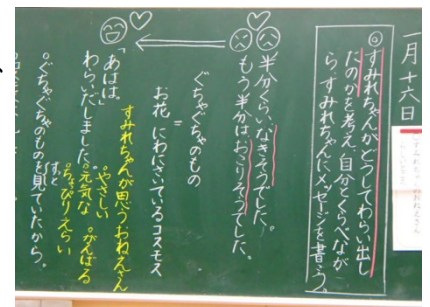
(1) 目指す子ども像

目標に向き合い、課題に対して自ら追求し、他者と学び合いながら解決を図る子ども

(2) 具体的な手立てと子どもの変容

手立て① 分かりやすく具体的な課題の提示

ある1時間のねらいを「すみれちゃんの行動や気持ちを自分と比べながら読み、メッセージを書くことができる。」と設定し、子どもには、「すみれちゃんがどうして笑い出したのかを考え、自分と比べながらすみれちゃんにメッセージを書こう。」と分かりやすく具体的な課題を提示した。それにより、子どもたちは、①すみれちゃんがどうして笑い出したのかを考えること②自分と比べながらすみれちゃんにメッセージを書くことという、学習の流れを理解できたことで、主体的に取り組む姿が見られた。



手立て② 見通しをもちながら主体的に学習を進めるための「読みの視点」の提示

「お話の人物と自分を比べて読もう」という単元全体を通してのねらいに迫るために、単元の初めに、「読みの視点」を子どもたちに提示し、毎時間意識させながら授業を進めた。「読みの視点」とは、①すみれちゃんと同じところや似ているところ②すみれちゃんと違うところ③すみれちゃんのおねえさんらしいところである。この視点を提示したことで、子どもたちにとって、主人公の気持ちの変化を読み進めるときのヒントとなり、教科書から根拠を探し出す手立てともなった。

また、主人公の気持ちの変化を顔の表情のマークで表したり、前時までの主人公の気持ちを振り返りながら、時系列での板書を工夫したことも、児童の思考の手助けとなった。

「コスモスに見えないぐちゃぐちゃの絵がかわいく見えてきた。」のは、

- ・ 妹ががんばってかいたことがすみれちゃんには分かってうれしかったから。
 - ・ 自分がお水をあげたコスモスをかいたことが分かって気持ちがかわったから。
- と、③の視点で主人公の気持ちを読み深めることができた。

手立て③ 「書いて考える」力を育成するための型の提示

自分と比べながら主人公へのメッセージを書く活動では、型（①すみれちゃんへの思い②そのわけ③自分と比べて考えたこと）を提示し取り組ませた。子どもたちにとってはどのように書けばよいか分かり、ねらいとする書き方や内容を書くことにつながった。また、型があることで意欲的に学習活動に向かう姿が見られた。また、机間指導を行いながら児童の考えを見取り、発表の際に、意図的な指名を行ったことで、友達の様々な考えを聞いたり、ねらいに合った考えを全体に広めたりすることができた。

【例として示した型】

すみれちゃんは…だね。
どうしてかという、…だから。
わたしだったら（わたしも）…。

すみれちゃんはりっぱだね。
どうしてかという、ちゃんとかりんちゃん
の気持ちを考えてこうどうしてたから。
わたしだったら、ぜんぜんやさしくしな
かったと思います。（A子）

すみれちゃんはやさしいだね。
どうしてかという、妹のかりんちゃんがか
いたコスモスの絵が、かりんちゃんにとっては
べん強だと思ってあげられたからです。
わたしだったら、ぜんぶけしゴムでけしちや
うと思います。（B子）



3 おわりに

「目標」と「学習」（指導）と「評価」の一体化を目指した授業作りをテーマに実践研究を進めてきた。今後は、具体的な評価方法をしっかりとって評価を実施することに重点を置いていきたい。また、しっかりと話を聞く、しっかりと話す等の学習ルールを身に付けさせること、誰とでも学習ができたり、友達の考えや意見を素直に受け入れたりできる仲間作り等にもさらに力を入れて学級経営をしていきたい。そのことが学力の向上にもつながっていくと考える。個の学びを大切にしながら、集団として学び合ったり、高め合ったりする姿がもっと増えるよう努めていきたい。